

基本計画における後期の取り組み

～「つながる はじまる なかの」の実現に向けて～



企画部企画課

基本構想

■中野のまちの将来像

「つながる はじまる なかの」

- 基本構想は、中野区に住むすべての人々や、このまちで働き、学び、活動する人々にとって、平和で、より豊かな暮らしを実現するための共通目標であり、また、区が区民の信託に基づき、**区政運営を進める上で最も基本的な指針**を示すものです。
- この基本構想では、人々が大切にする理念の下、中野のまちの将来像として「つながる はじまる なかの」を掲げるとともに、**10年後に目指すまちの姿**を、**4つのまちの姿**（基本目標）ごとに描いています。

■4つのまちの姿（基本目標）

1

人と人がつながり、新たな活力が
生み出されるまち

2

未来ある子どもの育ちを地域全体で
支えるまち

3

誰もが生涯を通じて安心して自分らしく
生きられるまち

4

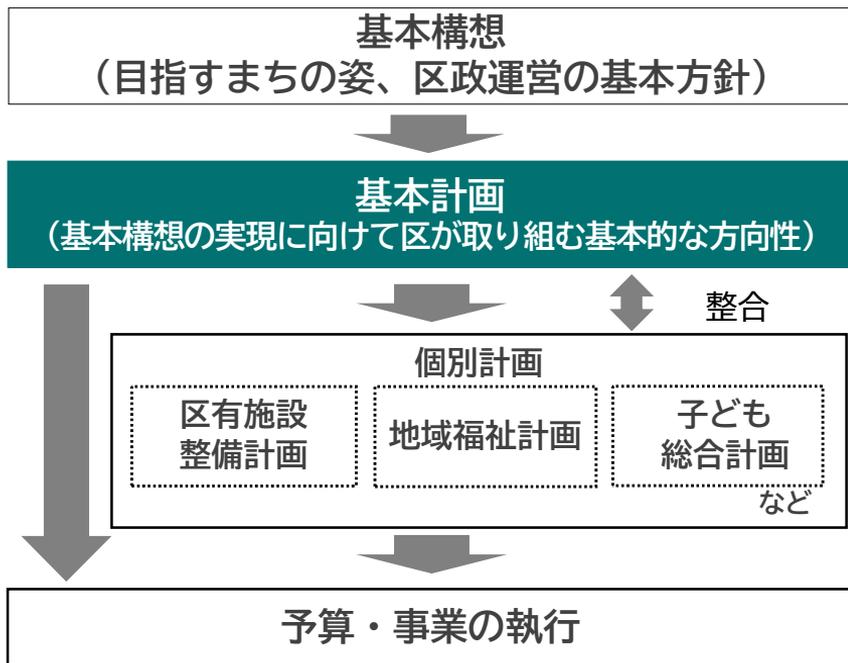
安全・安心で住み続けたいくなる
持続可能なまち

基本計画

■策定の趣旨

- 基本構想に掲げる「**つながる はじまる なかの**」の実現に向け、その礎となる5年間の区政運営を着実に進めるために策定しました。

■基本計画の位置付け



■計画期間（2021年度～2025年度）

- 2021年度から2025年度までの5年間**を計画期間としています。
- ただし、区を取り巻く社会経済状況が大きく変化した場合や、財政状況及び計画の前期における各施策の実施状況等を踏まえ、見直します。

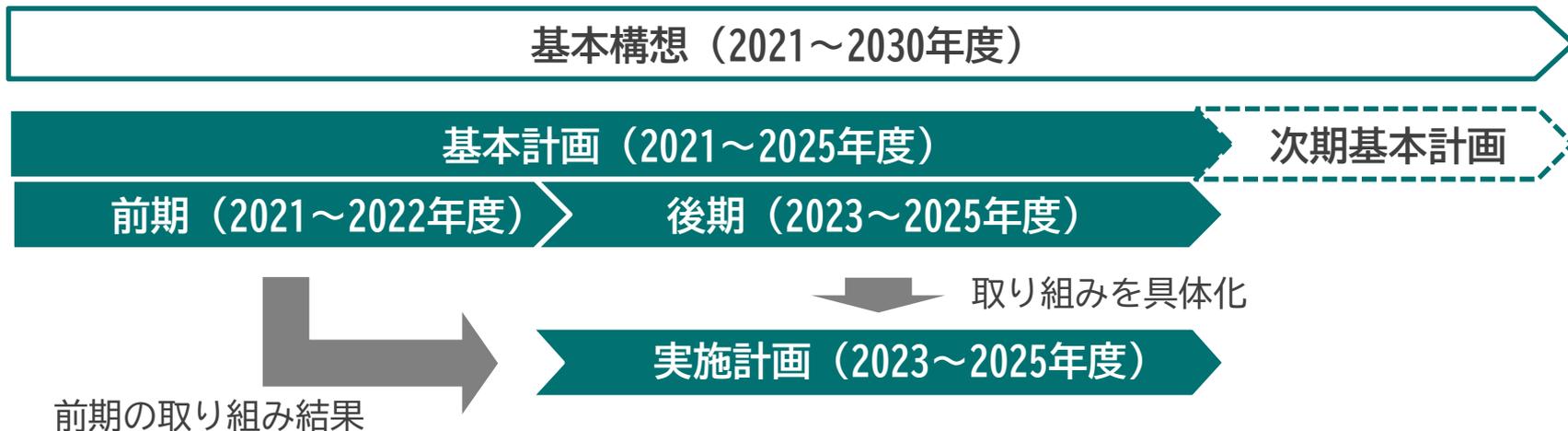
■計画の構成

- 4つのまちの姿のもと、政策及び施策を体系化しています。
- 各施策においては、その方向性を示すとともに、成果指標や主な取組、事業の展開を設定しています。

基本計画後期の取り組み（実施計画の策定）

■基本計画後期の取り組み（実施計画の策定）

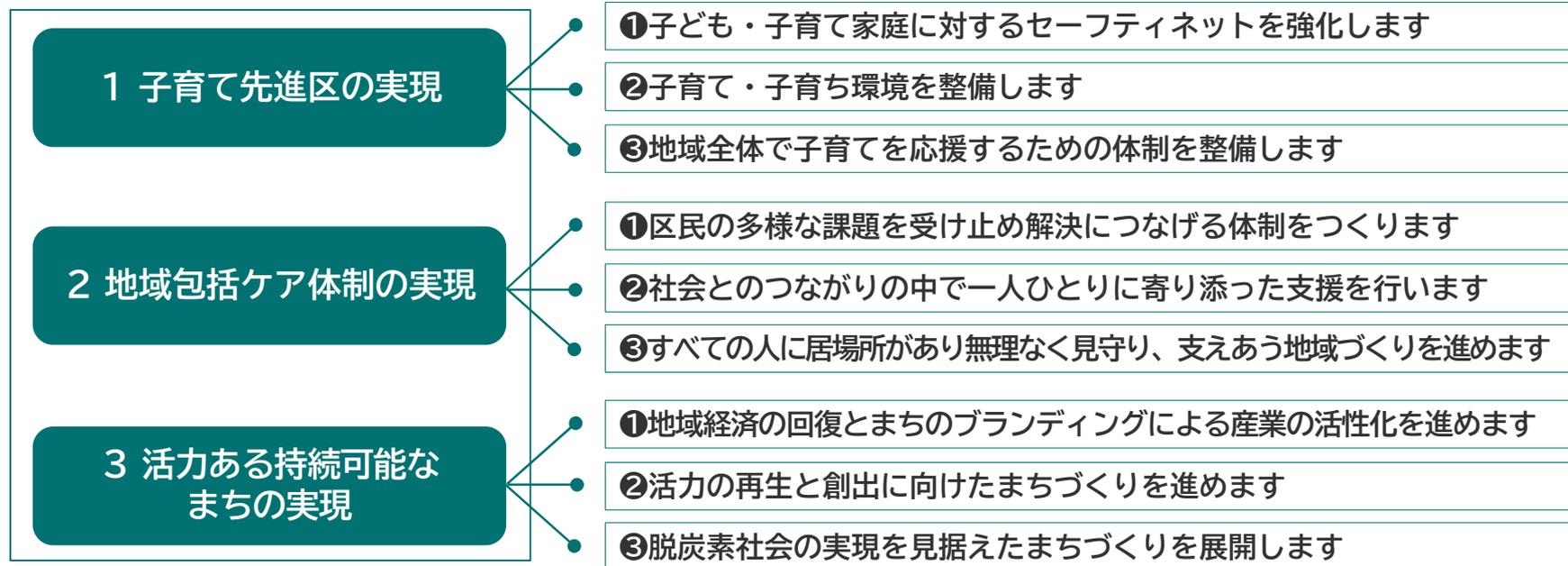
- 基本計画に定める各施策は、前期2年間（2021～2022年）と後期3年間（2023～2025年）に分けて事業の展開を設定しています。
- 中野区は、前期の取り組み状況を踏まえ、後期の取り組みを具体化した実施計画の策定に向けて、検討を進めています。



重点プロジェクト

■重点プロジェクトとは

- 基本計画における政策及び施策を効果的かつ効率的に推進していくため、**組織横断的かつ重点的に対応**することが必要な政策課題に対して**重点プロジェクト**を設定し、全庁をあげて取り組んでいます。



①子ども・子育て家庭に対するセーフティネットを強化します

- 児童虐待を未然に防止する事業を充実し体制を強化します
- 生活が困難な状況にある家庭の子どもを支える環境をつくります

《前期及び令和5年度の主な取り組み》

- 児童相談所の設置及び子ども・若者支援センター（みらいステップなかの）の運営
虐待の未然防止、早期発見、早期対応のため、専門性の高い相談支援・指導・措置を行う体制の整備
- 子どもの貧困対策の推進
学習支援事業や子ども食堂への支援拡充、生活に困窮する子育て家庭への支援につなげるための体制の充実
- ひとり親家庭支援
ひとり親家庭（実質ひとり親家庭を含む）の孤立を防ぐための情報発信強化、環境づくり、関係機関と連携した支援の強化や養育費確保に向けた支援
- 妊娠から子育てにかかる切れ目ない相談支援体制の充実
妊産期・子育て期における相談支援事業や離乳食講習会等のサポート事業の拡充、多胎児家庭支援の強化や産後ケアを行う施設の拡充

②子育て・子育て環境を整備します

- 子どものニーズに合わせた環境づくりを進めます
- 地域の協働・協創により学習環境を充実します

《前期及び令和5年度の主な取り組み》

■地域子ども施設、児童館の機能拡充等

ふれあいの家の開館日拡充、ふらっとサンデーの拡充、学童クラブ待機児童対策

■区立公園の整備等

中野区公園再整備計画による再整備、（仮称）上高田五丁目公園の整備

■教育相談体制の充実

悩みを抱える子どもたちをサポートするスクールソーシャルワーカーの配置を拡充
また、学校現場への法律的支援を行うスクールロイヤーを配置

③地域全体で子育てを応援するための体制を整備します

○多様な主体の参画により子どもの育成活動を活性化します

《前期及び令和5年度の主な取り組み》

■「中野区子どもの権利に関する条例」の制定

子どもの権利を保障し、子どもにやさしいまちづくりを推進するために制定。

子どもの権利救済のための窓口として子ども相談室を設置し、子どもの権利を保障する。

また、子どもの権利委員会を設置し、子ども施策の検証を行う。

■若者育成支援事業

令和4年度試行実施とした大学生・社会人支援事業（若者会議）の本格実施や、中高生年代向け施設のあり方の検討

①区民の多様な課題を受け止め解決につなげる体制をつくります

- 支援を必要とする人への相談・コーディネート体制を充実します
- 地域ぐるみで課題を解決するための機能を強化します

《前期及び令和5年度の主な取り組み》

■ヤングケアラー支援

実態調査を実施するほか、当事者同士が交流できるオンラインサロンの設置や支援機関への橋渡し役となるコーディネーターを配置

■ひきこもり支援事業

新たにひきこもり相談会及びサポーター養成事業を実施

■地域包括ケア体制の充実に向けた産官学のコンソーシアム(共同基盤)の整備

教育機関、企業等団体の持つ知見・ノウハウを活用するため、コンソーシアム(共同基盤)を整備

■成年後見制度利用促進に向けた中核機関の設置

適切な後見人候補者の検討、後見人等への継続的な支援の中心的役割を担う機関を設置

②社会とのつながりの中で一人ひとりに寄り添った支援を行います

- すべての人の意思と権利を守る地域づくりを進めます
- 支援が必要な人の生活の安定と自立を支える基盤づくりを進めます

《前期及び令和5年度の主な取り組み》

■高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施

検診データ等の分析を行い、健康課題や支援対象者を特定しアプローチを行う

■重度訪問介護利用者の大学等修学支援事業

重度障害者が修学するために必要な支援体制を大学等が構築できるまでの間、通学中及び大学等敷地内での身体介護等を提供します。

■認知症とともに暮らす地域安心事業

認知症検診、地域支援推進事業を通して、認知症の初期の段階から相談、支援、診断ができる体制を整備
また、若年性認知症の相談窓口や個別相談会を設置し、早期に必要な支援が開始される体制を整備

③すべての人に居場所があり無理なく見守り、支えあう地域づくりを進めます

- 関心やスキルに応じた多様な社会参加を促進します
- 見守り・支えあい、支援に取り組む主体や手法を充実します

《前期及び令和5年度の主な取り組み》

■多文化共生事業の推進

中野区国際交流協会を通じて、外国の方などを対象とした出張日本語講座を実施。また、外国の方と特に接点がある区内団体を対象としたやさしい日本語出前講座を実施

■区民公益活動の充実に向けた基盤整備とネットワークづくり

地域団体の活動情報を簡易に発信・取得ができるWEBアプリの導入と活用促進のための研修の実施

■障害者スポーツ等の推進

区内障害児(者)施設での知的障害者文化スポーツ事業の対象拡大・プログラム充実、ボッチャ体験会などの実施

プロジェクト3 活力ある持続可能なまちの実現①

①地域経済の回復とまちのブランディングによる産業の活性化を進めます

- 区内事業者の継続的な事業活動を支え育てます
- 商店街の魅力と利便性を向上させ、新たな活力を創出します
- 新たな魅力の発信・活用による地域ブランドづくりを進めます

《前期及び令和5年度の主な取り組み》

■中野サンプラザ閉館を契機としたシティプロモーション

中野サンプラザの外壁を利用したプロジェクションマッピングを実施
外観及び建物内部を3Dデータ化し、アーカイブ及びオープンデータとして広く民間事業者等に提供する

■商店街キャッシュレス普及キャンペーン事業

希望する商店街に対して「店舗向けキャッシュレス相談（勉強）会」「消費者向けキャッシュレス推進イベント」「キャッシュレス決済機器導入支援」をパッケージ化して実施

■文化、芸術体験の充実

区立小・中学生に対し、文化・芸術団体による体験教室や鑑賞会等を実施

②活力の再生と創出に向けたまちづくりを進めます

- 新たなにぎわいの創出に向けたエリアマネジメントの仕組みを構築します
- 交通結節機能の強化と回遊性・防災性の向上を図ります
- まちの安全性・快適性・利便性の向上を図ります

《前期及び令和5年度の主な取り組み》

■中野駅周辺のまちづくり

中野駅周辺各地区のまちづくりの推進

■新井薬師前駅・沼袋駅周辺のまちづくり

交通環境の改善、にぎわいと魅力あふれるまちづくりや防災性の向上に向けた取組を進める

■防災まちづくり

地震時における地域危険度が高い地域や木造住宅密集地域等において、地域の市街地状況に即した防災まちづくりを推進

③脱炭素社会の実現を見据えたまちづくりを展開します

- 生活のあらゆる場面における環境配慮行動を促進します
- すべての行政活動における環境負荷を低減します

《前期及び令和5年度の主な取り組み》

■ゼロカーボンシティ宣言

2050年脱炭素社会の実現に向け、都市における快適で持続可能な生活環境を次世代に引き継ぐため、ゼロカーボンシティを宣言

■中野区における脱炭素社会の実現に向けた分析調査

脱炭素ロードマップの作成に向け、具体的な取り組みを検討するため、二酸化炭素排出量の削減ポテンシャル等の分析調査を実施

■蓄電システム、高断熱窓・ドア、太陽光発電システム補助の創設

太陽光発電システムや、これに連携する蓄電システムのほか、高断熱窓・ドアの設置に対する補助を創設

グループワークの前に

■区の施策に対する評価（上位5項目）

（）内は前年度順位

●区が特に力を入れていると評価できる施策を聞いたところ、3割以上の方がまちづくりを選択しています。



■区の施策に対する要望（上位5項目）

（）内は前年度順位

- 今後、区に力を入れてほしい施策を聞いたところ、2割以上の方が高齢者福祉、防災を選択しています。
- また、高齢者福祉、子育て支援は前回調査（2021年度）より順位が上がっています。

